

NPO法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会（通称：REPT（レプト））
(Citizens for Renewable Energy Promotion, Takarazuka)

REPTの活動紹介 ＜再生可能エネルギーでまちづくり＞

- ・宝塚市できれいな空気を吸い、きれいな食べものを食べ、安心して暮らしを
- ・子や孫や将来世代に誇れる、住みやすい、安心なまちを



私たちの暮らしを振り返ってみると・・・

20世紀前半：戦争 → 科学技術の進歩

20世紀後半：科学技術を利用した**便利で豊かな生活**

電化製品の普及・個人が車を所有

あらゆる仕事の機械化

人口増加・所得上昇

意識の変化 もったいない → もっといっぱい

「大きいことはいいことだ」「消費は美德」

大量生産・大量消費・大量廃棄

20世紀終盤：環境問題の顕在化

21世紀の今：大きな被害の発生 → 気候変動・放射能汚染

その原因の多くが**廃棄物 = 実は廃棄不能物**

CO2・放射性廃棄物・プラスチック

分岐点：今すぐ多くの人が自覚し実行しなければ…

宝塚における私たち市民の活動の経緯

1981年発足

原発の危険性を考える宝塚の会

脱原発
で
安全な社会

2011年3月11日東日本大震災による
福島原発事故発生



2012年発足

NPO法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会
(通称 R E P T (レプト))

再エネ
で
暮らしの安心

市民発電所設立に伴い
発電所運営会社設立

2013年設立
非営利型株式会社
宝塚すみれ発電

市民発電所
で
エネルギー自給

N P O 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会

Citizens for Renewable Energy Promotion, Takarazuka
(通称：R E P T (レプト))

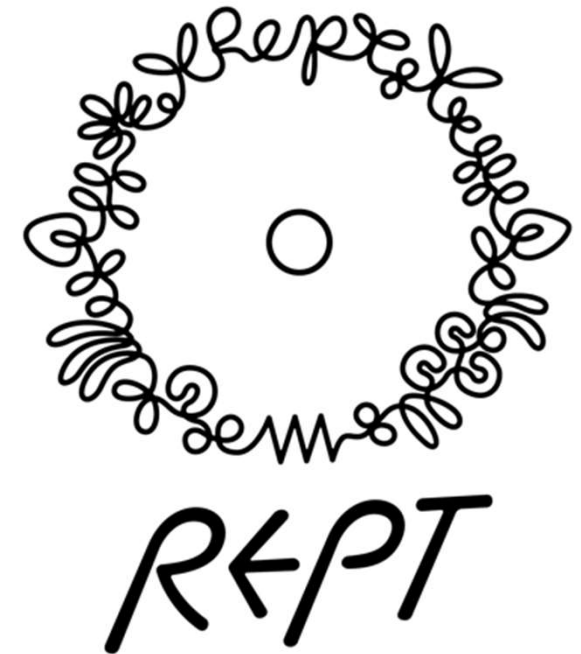
- ・2011年 3・11 東電福島第一原発重大事故発生
- ・脱原発のためには代替エネルギーの提案が不可欠と考え、
原発反対と並行して再生可能エネルギー推進活動を開始

<2024年度会員、寄付状況>

正会員：50人、サポーター会員：48人、
賛助会員：1団体、寄付頂いた方 10人

<主な活動内容>

- 毎月第2金曜日18：00～運営会議を開催
- 再生可能エネルギー学習会・セミナー
- イベント参加（再エネの紹介・再エネ相談など）
- ニュース発行
- 宝塚市との連携（提言・協働・再エネ推進審議会委員など）
- F I Tに頼らないソーラーシェアリングの事業モデル検討、推進
- 放置された里山の薪炭林をエネルギーに利用する体験イベント



REPTのビジョン



エネルギーも地産地消で未来にのこしたいまちづくりを！

私たちREPTは2011年の東日本大震災での福島原発事故をきっかけに、安全な暮らしを求め、再生可能エネルギーをすすめようと始めました。再エネの普及啓発のみならず、省エネや防災など様々な活動を続けています。

石油や天然ガスなどの輸入資源に頼るエネルギーやひとたび事故が起きると市民の生活を奪ってしまう原発のエネルギーに頼らない、安心して暮らせる再生可能エネルギー100%のまちづくりが私たちの目指すところです。

<REPTが目指す再生可能エネルギーの地産地消ビジョン>



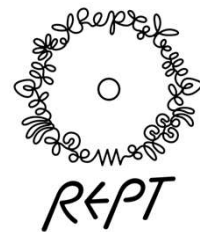
REPORTの活動紹介（1）



市民との勉強会を毎年数回開催（最近の事例）

テーマ	開催日	内容
「未来につなげる食とエネルギー自給の仕組み」	2024/5/26	講師：株式会社TERRA代表の東光弘さん ソーラーシェアリングの本質的な理念と地域農業振興への可能性。 「人の笑顔が溢れる再エネ」をビジョンに掲げ、「生態系との調和」「地域社会との調和」「一般化および発展、応用」の3つのテーマ ペロブスカイトや下部農地で行う不耕起栽培の事例も紹介
「環境にやさしいまちづくりを目指す身近な薪炭林を活用した脱炭素」	2024/1/20	講師：株式会社篠田主任の柳樂行宏さん 宝塚市の西谷地区に放置された薪炭林をカーボンニュートラルな木質バイオマス燃料にして暖房や給湯に利用。放置された薪炭林整備、獣害対策・生物多様性・里山景観・観光資源の回復、地域の脱炭素化・資源・経済循環の同時実現
「ファクトフルネス講座」	2023/7月、9月、10月 （計3回）	講師：京都大学特任教授（当時）の安田陽先生 勇ましい断言する論調「〇〇だ！」に騙されない市民になるために。 インターネットやメディアにあふれる情報は本当なのか？ 最もらしいナラティブ（物語）は科学的に根拠があるのか、ファクトフルネスに考える力をつける「安田塾」
「戸建てでもマンションでもできる断熱対策」	2023/5/27	講師：松尾設計室代表の松尾 和也 さん 今、省エネ対策を行えば電気代高騰は乗り切れる。 「断熱対策が不十分な多くの日本の家は凶器」。断熱工事は、窓の高断熱化、床断熱補強、ユニットバス化、天井断熱補強がポイント。 他に省エネの観点から、太陽光発電による電力の自家使用と余剰電力を活用した給湯が効果的とのアドバイスも

REPTの活動紹介（2）



2025年1月に予定している勉強会の案内

宝塚市立男女共同参画センター・エル 市民企画支援事業

＜テーマ＞

脱化石燃料と温暖化防止につながる「耕さない農業」について

「耕さない農業」と聞くとその実現性に疑問を持つ方が多いかもしれませんが、すでに世界は不耕起栽培に大きくかじを切っているようです。アメリカの農業はこの30年で農業用燃料の消費を40%も減らしたとのこと。また、一般に農地は温室効果ガスの排出源でもあります。不耕起栽培の採用で吸収源にすることができる、とも。これからの農業の在り方について学ぶ勉強会です。

講師：金子 信博（かねこ のぶひろ） 先生
福島大学 食農学類 生産環境学コース 特任教授

とき：2025年1月25日（土）

14:00 ～16:00

（開場）オンライン、現地参加共13:45～

**ところ：宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室3, 4 &
Zoomオンライン**

（阪急・JR宝塚駅隣ソリオ2 4階）

参加費：無料（現地で有志によるカンパ制）

申込方法：事前予約制（現地当日50名まで）、REPTのホームページ

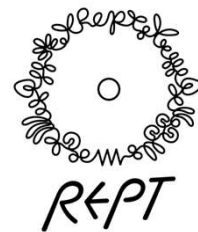
連絡先：メール info@rept.or.jp



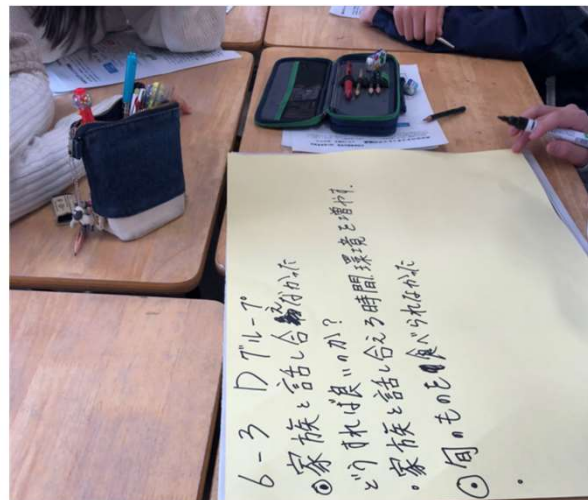
申込QRコード



REPTの活動紹介（3）



●宝塚市内の小学校に環境出前授業（2023年度まで） 「たからっこエコライフノート」を作成し、小学生に配布



●定期的にニュースを発行（年3～4回）

REPT NPO法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会 No.49
2023年1月7日 発行部数 4,000部
発行所 〒650-0022 宝塚市立中央図書館
TEL 079-481-8800 FAX 079-481-8805
http://rept.jp

宝塚市立中央図書館センターエール 市民企業連携事業
脱化石燃料と温暖化防止につながる「耕さない農業」について

講師：金子 信博 さん
(かねこ のぶひろ)
福島大学 食農学類 生産環境学コース
特任教授

日時：2023年1月25日（土）
14:00～16:00
(開催) オンライン、現地参加員 134名
ところ 宝塚市立中央図書館センターエール
参加費 無料 (現地参加員は50名まで)
申込方法 事前予約制 (現地参加員50名まで)
連絡先 メール info@rept.jp

●参加申し込みは、REPTホームページにある「お知らせ」からお申込みをお願いいたします。
(REPTホームページURL: <https://rept.jp/>)

●オンライン200名の参加申込は申し込みページから申込みください。入力欄はメールアドレス、200名を超えた場合は申し込みページから申し込みください。

●参加費 無料 (現地参加員は50名まで)
●参加費 無料 (現地参加員は50名まで)
●参加費 無料 (現地参加員は50名まで)

REPT NPO法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会 No.48
2023年8月30日 発行部数 4,000部
発行所 〒650-0022 宝塚市立中央図書館
TEL 079-481-8800 FAX 079-481-8805
http://rept.jp

**農林水産省「みどりの食料システム戦略推進 進交付金事業」を開始しました！
ソーシャリアリングの活用をすすめる「ライム産業」へ**

●第13回選考結果の報告
2023年5月26日に第13回選考結果が発表されました。
選考結果の発表後、正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。

●第13回選考結果の報告
2023年5月26日に第13回選考結果が発表されました。
選考結果の発表後、正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。

REPT NPO法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会 No.48
2023年8月30日 発行部数 4,000部
発行所 〒650-0022 宝塚市立中央図書館
TEL 079-481-8800 FAX 079-481-8805
http://rept.jp

**農林水産省「みどりの食料システム戦略推進 進交付金事業」を開始しました！
ソーシャリアリングの活用をすすめる「ライム産業」へ**

●第13回選考結果の報告
2023年5月26日に第13回選考結果が発表されました。
選考結果の発表後、正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。

●第13回選考結果の報告
2023年5月26日に第13回選考結果が発表されました。
選考結果の発表後、正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。

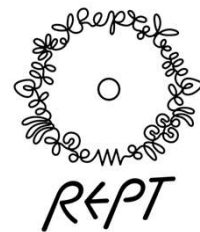
REPT NPO法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会 No.48
2023年8月30日 発行部数 4,000部
発行所 〒650-0022 宝塚市立中央図書館
TEL 079-481-8800 FAX 079-481-8805
http://rept.jp

**農林水産省「みどりの食料システム戦略推進 進交付金事業」を開始しました！
ソーシャリアリングの活用をすすめる「ライム産業」へ**

●第13回選考結果の報告
2023年5月26日に第13回選考結果が発表されました。
選考結果の発表後、正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。

●第13回選考結果の報告
2023年5月26日に第13回選考結果が発表されました。
選考結果の発表後、正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。正選候補1人から入選 (内選考通過1人) の候補者をすべての選考結果が発表されました。

REPORTの活動紹介（４）



市民発電所 6 基を作成

NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会 + (株) 宝塚すみれ発電
設立総会で「ぜひとも市民発電所を作りましょう！」との発言

- 建設地提供の申し出 手作りで「宝塚すみれ発電所第1号」を建設
- 市民出資 + 銀行融資 「宝塚すみれ発電所 2 号」建設
- 宝塚市モデル事業 兵庫県無利子融資利用 「宝塚すみれ発電所 3 号」建設
- ソーラーシェアリング 「宝塚すみれ発電所 4 号」建設
- 中古パネル利用 オフグリッド自家消費型 「宝塚すみれ発電所 5 号」建設
- « 2 号 » の空き地に追加 « 宝塚すみれ発電所 6 号 » 建設



非営利型株式会社 宝塚すみれ発電



市民発電所建設に伴い、発電施設の運営業務が発生
NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会は主として啓発活動分野を担い、
市民発電所の運営のため、非営利型株式会社「宝塚すみれ発電」を設立

- 市民発電所の資金集め
- 出資者への連絡
- 市民発電所の売電収入管理
- 市民発電所の維持管理
- 再生可能エネルギー相談
- 再エネ可能性調査

宝塚すみれ発電所 第4号は「ソーラーシェアリング」

「市民農園で行なうソーラーシェアリング」

(平成26、27年度農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業)



2015年9月
市原市ソーラーシェアリング協会
実験農場見学。先進地に学ぶ。

宝塚市北部にある市民農園でソーラー
シェアリングを行なうことになった。
2016年2月、一時転用の許可が下りた。



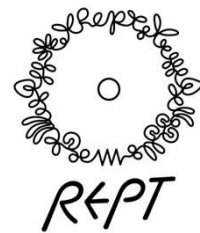
設備設置へ！GO！



「宝塚すみれ発電所4号」

ソーラーシェアリングとは？

太陽の光を、農地と太陽光パネルで「シェア」します
下部農地で農業を継続することが前提で「営農型太陽光発電」とも呼ばれています



ソーラーシェアリングの目的

農地を守る→農地は一時転用
最終的に復元する

農業を守る→営農が条件
(Fitによる売電20年間)

地域活性→ソーラーシェアリングは地域産業
(電気を作る設備である)

連携→地域、教育機関

新しい農業の形→エネルギー兼業農家
新規就農者へのアプローチ

＜課題＞

固定価格買取制度（FIT）の電力買取価格が安価（当初は1kwh当たり30円
超え→現在は10円）になり、2018年度以降新たなソーラーシェアリングの設置が
出来ていない。



固定価格買取制度（FIT）に頼らない、新たな電力買取モデルが必要

REPTの活動紹介（5）



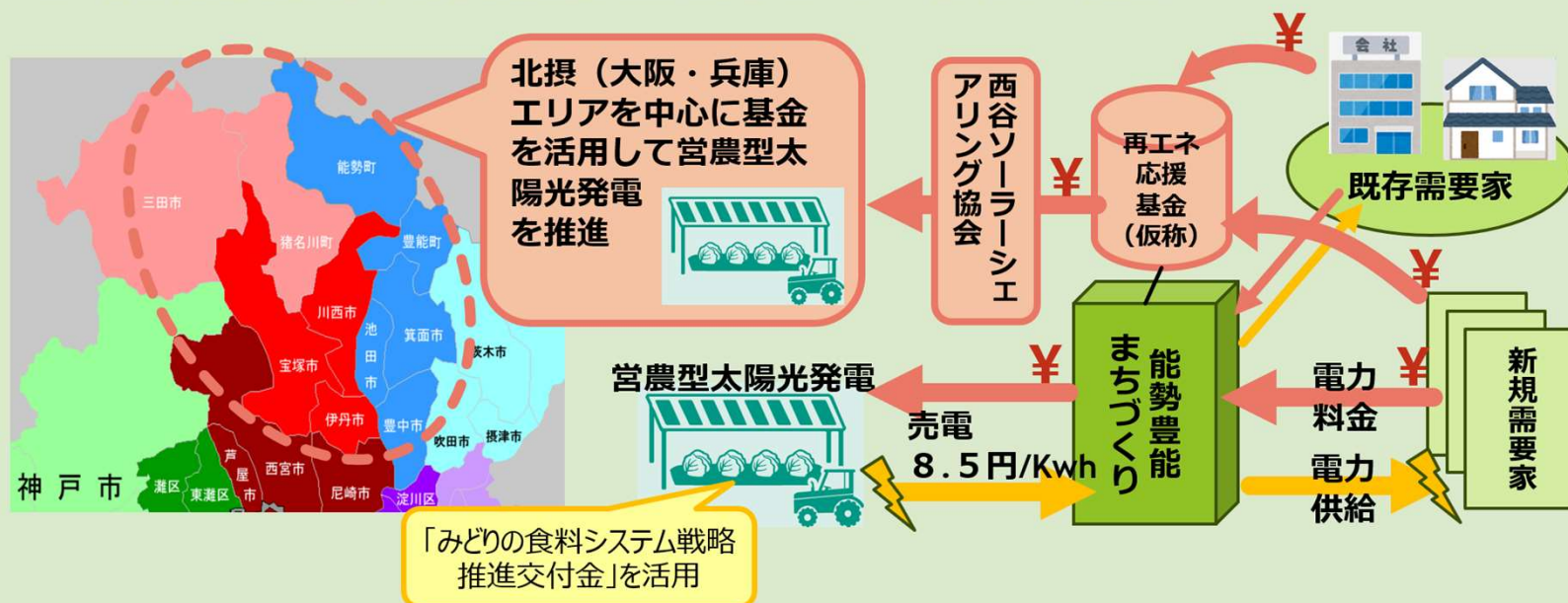
2024年度、農林水産省「みどりの食料システム戦略推進交付金事業」を開始

- ◆ 固定価格買取制度（FIT）に頼らない新たな電力買取モデルの検討
- ◆ 「西谷宮農型太陽光発電推進協議会」を立ち上げ。農林水産省が推進する「みどりの食料システム戦略」の一環として交付された交付金を活用し、一般社団法人西谷ソーラーシェアリング協会、JA兵庫六甲などの関連する14団体が参画した協議会をREPTが中心になって組成し検討事業を推進
- ◆ 目標は、3つの地域課題の解決につなげること
「就農人口減少と遊休農地の増加」、「FITに頼らないエネルギーの地産地消の実現」、
「西谷地区の関係人口の増加による経済循環を促すまちづくり」

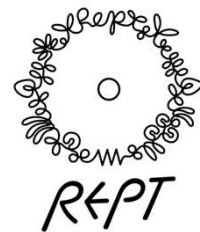
<検討中の「FITに頼らないエネルギーの地産地消モデル」>

「小売り買取モデル」を想定した事業スキーム

- 「みどりの食料システム戦略推進交付金」を活用した宮農型太陽光発電からの売電価格を8.5円/Kwhで提供
- 能勢豊能まちづくり（地域新電力会社）の需要家から電力料金の一部を寄付し「再エネ応援基金(仮称)」として積立
- 積み立てた基金を活用して、更なる宮農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）を設置



REPORTの活動紹介（6）



● 各種イベントに出展しエネルギーの地産地消を紹介

イベント名	開催日	主な出展内容
ひょうご里山フェスタ2024	2024/11/3	・一般社団法人西谷ソーラーシェアリング協会との共同出展 ・パネル展示「ソーラーシェアリングの紹介」「みどりの食料システム戦略推進交付金事業」 ・ポータブル太陽光パネル電力でシャボン玉製造デモ ・西谷産桜チップで燻製体験 ・薪割体験 ・燻製チップ作り体験
宝塚にしたにフォーラム&フェア	2024/9/28	・ブリティッシュブッシュクラフト（イジットリーさん）との共同出展 ・宝塚市西谷地区の里山をステージで紹介。遊休薪炭林はエネルギーにもなる「宝の山」 ・西谷産桜チップで燻製体験 ・薪割体験
宝塚市 環境パネル展	2024/9/17～24	・ソーラーシェアリング、REPORTの活動内容についてパネル展示



REPORTの活動紹介（7）



●宝塚市西谷地区の遊休薪炭林で「里山体験イベント」

里山で遊休薪炭林をエネルギーに変換する体験

- 炭づくり、薪割、柴刈り
- 薪や集めた柴で西谷産の米を炊飯
- 里山のみどりの中でのんびり森林浴
- 炭火バーベキュー
- 季節のイベント（山菜とり、栗拾い、虫取り、間伐材でサンタさんづくり）
- 今後も「グリーンウッドで箸づくり」「クズ炭で燃料となる炭団づくり」などの企画検討中



未来にのこしたいまちづくりと一緒にすすめませんか？



<会員特典>

会員には下記の3種類があります。

活動内容をお知らせするニュースの配信（年4回程度）、イベントや勉強会の案内も受け取れます。今後も会員特典（イベント参加優先等）も検討中。

また正会員には年次総会での議決権があります。

一緒に活動
する仲間を
募集中で
す！

区分	年会費
正会員	3,000円
サポーター	1,000円
賛助会員（団体）	10,000円

<REPTの入会・問い合わせ先>

下記から入会申し込み、問い合わせが可能です。



REPTのホームページ <https://rept.or.jp/>
の「お問い合わせ」

■ご寄付のお願い

私たちの活動に賛同、応援頂ける皆様からの温かい寄付は私たちの活動のエネルギーです。よろしくお願い致します！

<振込先情報>

ゆうちょ銀行からお振込みの場合

口座名：（トクビ）シンエネルギー・ユース・メルタカラツ・カノカイ
記号：00940、番号：328299

ゆうちょ銀行以外からお振込みの場合

振込先金融機関名：ゆうちょ銀行
支店名：〇九九店
口座科目：当座、口座番号：0328299
口座名：（トクビ）シンエネルギー・ユース・メルタカラツ・カノカイ

お振込み頂いた際のご連絡や、お問い合わせは下記に連絡をお願いします。

<メールアドレス> info@rept.or.jp